

煤染め

染める前の
アドバイス！

煤染めは松を燃やしてできた墨で染める染色です。
燻された煤を水に溶き染め上げれば、底深く、力強い色に
染まります。ベンガラと混ぜたり、重ね染めをすることで
より深い色合いが染められます。

染める前に下染めをしておくことで染料をよく吸込み水が透明に
なるくらいよく染まります。

1

生地が浸かるくらいの水をバケツに用意してください。
◎目安としては生地の重さに対し10倍の水

2

染める前に一度全体によく水を染み込ませて軽く
絞ってください。

◎水が浸透しにくい生地などは一度お湯に浸してください。

3

煤が沈殿しています。液を必ずよく振ってから
キャップ2〜3杯の水に溶いてよく混ぜ合わせてください。

◎煤はグマになりやすい性質があります。墨の固まりや
ツブが出てきた場合はムラの原因になりますので
手ぬぐいなどで漉してからお使いください。

4

生地を入れて1〜2分よく揉み込んで染めてください。

◎よく揉み込むことで繊維に染料がしっかりと入り込み
色落ちにもつよくなります。

◎濃く染めたい場合は液を足しながら繰り返し染めてください。

5

染まり上がったら手絞りまたは脱水して
天日干しで完全乾燥してください。

◎しっかりと乾燥させることで色が定着します。

6

余った液は排水または土壌に流しても心配ありません。
土分解される成分で作られています。



製造・販売元



古色の美®

ナカジマ株式会社

大阪府羽曳野市古市3丁目6-21
TEL 072-957-7755
FAX 072-958-1860

<http://www.kosyokunobi.com>

液の保存について

煤は下に沈殿してグマになりやすい性質
がございます。墨の固まりが出てくるこ
とがあります。染めムラの原因になります
ので、その場合は手ぬぐいのような生地
で漉してからお使いください。

染料は涼しい場所または冷暗所にて保管
ください。夏場や直射日光のあたる高温
での保管は劣化・腐敗の原因になります
のでご注意ください。

染めるときの注意点

泥液が沈殿していますので染める前は
必ずよく振ってからお使いください。
水に溶いたらよく混ぜ合わせてから染
めてください。混ぜずに染めることで
部分ムラなどの原因になります。

色落ちについて

染めた後は必ず乾燥させてください。
乾燥させることで色が定着します。
最初の1〜2回は他のものとの洗濯は
避けて、手洗いしてください。

染まるもの

綿・リネン・麻・紙・レーヨン
ウール・シルクなど

成分

松煙・水
天然ゴムラテックス

※定着剤に天然ゴムラテックスを配合
しています。アレルギーの原因である
蛋白質を抑えていますが、個人差があ
りますのでゴムアレルギーの方は使用
を控えてください。